



聖アンデレ教会 教会報

さかえ

第 388 号

日本聖公会東京教区 聖アンデレ教会
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18
TEL 03-3431-2822 FAX 03-3434-5698
www.st-andrew-tokyo.com

発行人：牧師 司祭ステパノ 卓志雄
編集人：リチャード倉辻明男
セバスティアーノ林圭佑

「新しいぶどう酒になって、新しい革袋へ」

牧師 司祭 ステパノ 卓 志雄

『新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。』（マタイによる福音書九章十七節…聖書協会共同訳）

これは、誰もがよく知る聖書の一節です。近年ではペットボトル入りのぶどう酒（ワイン）を見かけることもありますが、多くの方にとっては、ガラス瓶に入ったものを思い浮かべるのが一般的でしょう。そのため、「ぶどう酒を革袋に入れる」という表現にはあまり馴染みがなく、ピンとこないかもしれせん。

しかし、聖書が書かれた当時は、水やぶどう酒などの飲み物を革袋に入れて持ち運ぶのが一般的でした。当時の人々にとって、革袋は生活に欠かせないものでした。新しい革袋には柔軟性がありますが、長年使われた革袋は次第に硬くなり、ひび割れが生じてきます。そこに新しいぶどう酒を入れると、どうなるでしょうか。新しいぶどう酒は発酵によって炭酸ガスを発生させるため、革袋が膨れ上がり、最終的には破れてしまう恐れがあります。柔軟性のある新しい革袋であればそれに耐えることができますが、硬くなった古い革袋では中身が漏れ出し、袋自体も使いものにならなくなってしまふのです。

イエス様は、古いユダヤ教の律法に縛られ、形式的なルール（慣習）や儀式で人々を縛る宗教制度の中にいた人々に対して、「喜ばしい知らせ」、すなわち「福音」を新たに与えてくださいました。そして、その福音にふさわしい新しい器（新しい生き方）も求められたのです。これまでとはまったく異なる考え方や行動様式が必要であることを語られ、「新しいぶどう酒は新しい革袋に」というたとえを用いられました。イエス様の弟子たちも、その教えに従って新しい生き方を歩んできました。今、東京教区に属する一人ひとり、他の革袋（他教区）に入っていたぶどう酒、すなわち北関東教区の仲間たちと一つになるうとしています。つまり、北関東教区と東京教区が、「宣教」「礼拝」「交わり」「奉仕」といった教会の原点をこれまで以上に大切にし、より豊かに実践していくために、「新しい教区」（新しい革袋）としてのスタートが、現在、多方面で検討されています。そして、今年の秋には教区会で新教区設立が審議される予定です。

自分自身のこととして受け止めて、深い関心を持ってくださることを願っています。

北関東教区・東京教区宣教協働特別委員会主催の「新教区設立MEETING」、同委員会発行の「きょうどう通信」、東京教区広報委員会発行の「きょうくニュース」や「東京教区時報コミュニティオン」など、さまざまな媒体を通じて詳しい情報をお届けしていきますので、ぜひご確認くださいます。そして、神様が望んでおられる道を選択できるように、共に祈りください。

最後になりますが、イエス様の弟子たちが新しいぶどう酒として生まれ変わり、新たな生き方を歩んできたように、私たちもイエス様から与えられた福音を受け入れ、救われ、新しくされた者として、日々「新しいぶどう酒」であり続けようと、新しい生き方を求め、共に歩んでいきたいと思っています。新しい教区が生まれたとしても、両教区の一人ひとりが新たなぶどう酒として生まれ変わらなければ、古いぶどう酒のままでは、新しい革袋としての意味はありません。形だけではなく、中身もまた新しくされることが求められています。



諸活動報告

二〇二五年、沖縄の声に耳を澄ます

トマス牧野兼三

今から八十年前、沖縄では日本での唯一の地上戦が繰り広げられました。約九万人もの一般市民が命を落とし、住民たちは日本軍と米軍のはざまで翻弄されました。ときには「集団自決」という言葉では言い尽くせない、苦しい選択を迫られた人たちもいました。実に沖縄市民の四人に一人が沖縄戦で亡くなりました。

戦後、沖縄は長く米軍の統治下に置かれ、一九七二年に本土に復帰した後も、在日米軍専用施設の約七〇％が沖縄に集中しています。騒音、米兵による事件や事故、環境問題・・・。それらは、沖縄の人々の穏やかな日常を静かに、しかし確実に蝕んでいます。

今年の六月二十日から二十三日にかけて、私は今年で開始から四十年を迎える日本聖公会管区主催の「沖縄の旅」に初めて参加しました。聖アンデレ教会からは卓司祭、鶴飼良機さん、鶴飼久美子さん、鈴木茂さん、そして私の五名が参加しました。全国から集まった三十四名の聖職者と信徒が共に旅をし、嘉手納基地、平和祈念資料館、糸数アブチラガマを訪れました。声なき声に耳を澄まし、歴史に向き合い、最終日には、三原聖ペテロ聖パウロ教会で「慰霊の日」の祈りを共に捧げ、聖歌第四二三番「沖縄の磯で」を歌いました。私たちにできることは小さいかもしれませんが、先輩たちの意思をしつかりと引き継ぎ、共感し、語り、祈り、そして沈黙を選ばないこと。

それはやがて、社会のまなざしを変えていく力になると信じています。平和とは、ただ戦争がない状態ではなく、すべての人が尊厳をもって日常を生きられること。そのために、私たちは、遠くに思える沖縄の声を、自分自身への問いかけとして受けとめていく感性を、大切にしたいのです。

イエス様は、常に小さくされた者、傷ついた者と共におられました。私たちもまた、沖縄の声に耳を澄まし、その痛みを心に留め、共に祈りつつ、歩んでまいりましょう。



創立一四六周年を祝って

六月一日高橋主教をお迎えして一四六周年の創立記念日を祝いました。冬から春に洗礼を受けられた四名の方が堅信を受けられ、聖餐式の後の愛餐会では、恒例の男子のカレーを頂きながら豊かなひと時をともに過ごしました。



聖霊降臨日を祝って

六月八日聖霊降臨日午前十時半の聖餐式は武藤主教（聖公会神学院院長）に司式・説教をしていただきました。



クリンデーの報告

今年は久しぶりに教会をクリンデーにということ、六月七日（土）に「クリンデーグリーンデー」と銘打って、草刈りと清掃を有志の人で行いました。とても暑い中多くの方に参加していただき写真のとおり、敷地

内の雑草をきれいにすることができました。感謝いたします。

教会にJAZZが来た

JAZZコンサート実行委員会

イサク鈴木正敏

六年ぶり竹下ユキさん復活のチャリティー企画第二十二回「教会にJAZZが来た」が六月二十八日（土）に開催されました。チケットは完売！天候にも恵まれ売店の売上も上々！

聖堂内に響きわたるビッグウイングジャズオーケストラの素晴らしい演奏と素敵なヴォーカルに会場の皆様は酔いしれました。又今回、休憩中アンデレホールにて杉山響さんによるジャズピアノの演奏があり、初夏の宵に多くの方々を楽しませてくれました。今回の収益金は全て教会を通し社会奉仕の為に捧げます。チケットを購入の皆様、又当日会場設営、売店、受付、警備等、大勢の皆様のご奉仕を心より感謝申し上げます。



聖オルバン教会との合同礼拝

六月二十九日はお隣の聖オルバン教会との合同礼拝。二人の司祭と三人の執事そして両教会の信徒が聖卓を囲んで祈りを捧げました。愛餐会は、聖オルバン教会のハンバーガー！美味しかった！



ボーイスカウトのキャンプ報告

ボーイスカウト港第十四団
ヨセフ 藤波 勝久

今年のボーイスカウト隊は、五泊六日で西湖の紅葉台キャンプ場に行きました。湖畔のキャンプ場は涼しく、天気にも恵まれて、カヤックや乗馬、洞窟へのハイキングなど、毎日いろいろなプログラムを行うことができました。西湖は八六四年前の富士山の大噴火に際し溶岩流でできた三つの湖の一つで、湖の溶岩はまだ熱いとガイドに言われみな思わず手を引込めてしまいました。（実際は熱くありません）スカウトがみんな

な元気に五泊六日の長期のキャンプを過ごすことができましたこと感謝いたします。



ガールスカウト二〇二五年度

団キャンプ報告

ガールスカウト東京都第一三八団
渡邊 清加

ガールスカウトは、山梨県道志村で二泊三日のキャンプを満喫しました。野営活動に加え、清流・道志川での川遊びにスイカ割り、キャンプファイヤー、発団五〇周年の今年はお祝い企画として縦割りチームでのクラフト制作やお菓子対決も盛り込み、スカウトの個性や創造性に驚き、その成長に触れる楽しい時間となりました。

教会の皆様には準備中から温かいお声掛けを頂き、卓先生には出発時にご祈りを頂きました。改めて今年も無事、団キャンプを実施できたことを感謝いたします。

歌による夕の礼拝

マルタ村田信子

二〇〇七年より聖アンデレ教会聖歌隊の奉唱による「歌による夕の礼拝」は毎年行われてきましたが（コロナ禍を除き）、今年は七月二十六日に行われました。聖アンデレ教会の会衆はじめ聖オルバン教会の会衆、旅行中のチェコスロバキヤのご夫妻等、三十九名の方々と共にお捧げすることができ感謝でした。特に昨年に続き英文式文（ローマ字付）を用意し、聖歌やチャントと一緒に歌えたことを喜んでいらつしやいました。卓司祭のイマジンで始まるお説教に続き、最後は聖フランシスコの平和を求める祈りでお礼拝を閉じました。聖公会の宝石には遠く及びませんが、皆で共に祈ることを第一に考え、聖歌隊の心と響きを一つにして、これからも奉唱致してまいりたいと思います。



西側崖地整備推進検討委員会からの報告

エレミヤ大岡祐一朗

西側崖地整備を推進するための検討委員会は二〇二五年度の堅信受領者総会にて、「崖地の崩落と土砂流出による近隣建物への危害が懸念」への対策を具体検討することを目的に設立が承認されました。

直近数年間は建築計画案と併せて、将来計画の検討を行ってきましたが、建築が関係する場合、おのずと時間も必要となるため、まずは、崖地の安全対策に限定し、実務レベルまでブレイクダウンして検討を行い、答えを出す事をミッションとしています。

任期は二〇二五年十月末までです。つまり、二〇二五年十月末までに崖地の安全対策について、何等かの答えを教会として選択するという事になります。

現在の具体的な進捗状況としては、二〇二三年に現況の崖地について、詳細調査を行った日特建設㈱と打合せをし、専門的な見解を聞きながら、総合的にベストな判断ができるように検討を深めております。九月二十八日に信徒の皆様への説明会を開催いたしますので、ご参加のほど宜しくお願い致します。



各種お知らせ

青山墓地 墓地管理規則

見直しのポイント

ヨハネ 松岡正道

皆様、青山墓地の共同墓地の墓誌（埋葬された方々のお名前が刻まれた石板）の空きスペースが、あと少しで一杯になってしまうのをご存知ですか？ 現在、共同墓地には約三八〇の方々が埋葬されていますが、墓誌の残りスペースは、あと四〇名弱分です。この度、教会委員会では、墓地管理規則にまつわる各種の見直しを行います。今後詳細のお知らせが届きますが、ポイントは次の四つです。

第一点は、規則とは別ですが、墓誌の石板の反対側にも刻銘のスペースを確保するべく検討を開始します。実現のため、墓誌の右側に隣接する古い墓石を関係者の了承を受け若干移動する工事が必要（見積額約八〇万円）です。

第二点（以下、規則変更）は、管理料の値上げです。アンデレ教会が青山墓地から借りている区域には、関連教会を含めた共同墓地の他に個人墓も数多くあり、継承されたご家族と連絡が取れなくなる事が増えれば合葬や一部区域の返却（墓石処分等）に多額の費用が発生します。いわゆる「墓じまい」が増加し、共同墓地への埋葬が増えることも予想されます。共同墓地への埋葬後、四〇年経過後に行われる「合葬」費用は、一柱あたり一万三千円です。このような状況をふまえ、二〇二六年一月より、共同墓地の管理料は、一世帯あたり年間四千円（従来は二千円）、

個人墓は六千円（従来は二千円）に値上げ致します。

第三点は、二〇二六年一月以降に埋葬される方から、管理費の支払い方法を変更致します。変更後は埋葬時の一括納付方式となります。共同墓地の場合、合計二十一万円（埋葬一時金の五万円に、十六万円＝四千元×四〇年を加えた金額）。二〇二六年一月以降埋葬される方々はすべて永代記念されることになります。

第四点は、多数の生前予約のご要望への対応です。生前の刻銘は出来ませんが、共同墓地の場合、二十五万円（生前予約金四万円＋前述の管理費）の納付を以て生前予約の手続ができるように変更します。年内に皆様への説明を行い、規則を整えて参ります。

コンテンツ・ポラリ音楽による昼の祈り

一緒に賛美したい人大募集！

フィリップ・オーガスティン

阿久津朋宏

試行錯誤を重ねてきたコンテンツポラリ音楽チームは、二〇二五年九月から祈り書の「昼の祈り」を用いて、毎月第一主日の午後三時四十五分より聖堂での定期的な礼拝で奉仕をするに至りました。多くの方々に集まって欲しい、そして現代的音楽で賛美することの良さも知って欲しい、そんな思いから、その日の聖餐式の五曲の聖歌から三曲を抜粋し、コンテンツポラリな変奏で奉仕をしようというビジョンが定まり、委員会の承諾を頂きました。心強い先達であるマーガレット教会の音楽仲間も駆け付けてくださいます。

とは言え、まだスタート地点に立ったばかりです。大好きな兄弟姉妹の皆さま方と一緒に賛美し、今までになかった新しい居場所を作って行くために、是非お知恵をいただきたいと思えます。

妹の皆さま方と一緒に賛美し、今までになかった新しい居場所を作って行くために、是非お知恵をいただきたいと思えます。

国内外問わず多様なワースhipソング（もちろん変奏聖歌もあります）を持ち寄って準備していますので、是非ご参加ご意見下さい。奏楽者一同、心よりお待ちしております！

北関東教区・東京教区合同礼拝

新しい教区のスタートに向けて九月十五日（月）十三時より、立教大学（池袋）のタツカーホールを会場に初めての北関東教区・東京教区合同礼拝が行われます。司式は高橋宏幸主教、説教は立教大学総長の西原廉太主教です。

礼拝あとには第二回の新教区設立ミーティングが開催されます。どうぞ、ご出席ください。

アンデレチャリティーバザー

バザー実行委員会

恒例のチャリティーバザーが十月十九日に開催されます。献品のご協力をお願いいたします。また、九月に入りますと仕分け作業や値付け作業が佳境に入ります。多くの方々のご協力もよろしくお願いします。

コイノニア



聖アンデレ教会 ホームページ 聖アンデレ教会 フェイスブック

インターネットやYouTubeなど

ご不明な点がございましたらご遠慮なく

教会までお問合せください